

大丸九万里企業管理合同会社の概要

大丸九万里企業管理合同会社は、これまで主に国際ビジネス視察、国際貿易、政府間訪問、及び関連学校との姉妹校提携などの文化・観光サービス業務を行っており、豊富な政府資源、介護業界資源、日本の各種サービス業の資源、そして学校教育資源を有しています。

日本社会の高齢化が進む中、日本各地の介護施設やサービス業界では、介護従事者の需要がますます増加しています。

厚生労働省の予測によれば、介護業界だけでも今後、56.6 万人の人手不足が生じることです。

この問題を解決するため、日本政府は「特定技能」制度を導入し、民間企業に対して海外での人材募集を奨励し、外国人を日本の介護及びその他のサービス業に従事させる取り組みを進めています。

大丸九万里は、モンゴル、台湾などの国々と地域から委託を受け、現地の企業と連携し、アジアの複数地域にある職業学校で、介護業務やその他のサービス業に従事したいと考える若者を日本での就業に向けて募集・研修を行っています。

これにより、業界の専門知識や実務スキルの向上を図り、日本の介護業界及びその他サービス業の人手不足を緩和するとともに、アジア各国の人材の育成にも積極的に貢献しています。

アジアでは、大丸九万里は台湾の台湾国興企業管理有限公司、台湾泉城国際顧問有限公司、台湾泉城国際顧問有限公司、インドネシアの永恒人力資源公司等、複数の企業と提携関係を結びました。

また、モンゴルペガサス東洋インターナショナル人材管理有限会社とはモンゴル国における独占的な提携契約を結び、各業界のサービス人材を共に育成しています。

日本では、大丸九万里は全国規模の大手介護グループと提携しています。

アジア各国から日本に渡り介護業務やその他のサービス業に従事する若者に対して、就業機会と福利厚生を提供しています。

大丸九万里は、アジア各国の協力企業及び協力校と手を携え、「飛馬計画」に共に参加し、介護産業の未来を共に創り上げることを願っています！